

令和8年7月1日

新潟県医師会長
堂前 洋一郎 様

新潟大学医学部災害医療教育センター長
佐藤 昇

新潟大学医学部災害医療教育センター 研修会
参加者募集案内について（依頼）

平素より、本センターにおける災害医療教育への格別の御高配を賜り御礼申し上げます。

さて、本センターでは、標記研修会の開催を下記のとおり予定しております。

大変お忙しいところ誠に恐縮ですが、貴会管下の医療機関ならびに新潟県民医療推進協議会の構成団体における災害医療関係者への周知について、御配慮いただきますようお願い申し上げます。

記

1 開催日時、研修名称、開催方法

	開催日時（予定）		研修名称	開催方法
①	8月20日（木）	9:30-15:30	令和8年度新潟県災害医療研修会	集合研修（中越）
②	8月21日（金）	9:30-15:30	令和8年度新潟県災害医療研修会	集合研修（上越）
③	8月29日（土）	9:30-16:30	WHO版PFA研修会	集合研修
④	9月3日（木）	9:30-15:30	令和8年度新潟県災害医療研修会	集合研修（佐渡）
⑤	9月5日（土）	10:00-16:00	D-EATs 試行コース	集合研修
⑥	9月10日（木）	9:30-15:30	令和8年度新潟県災害医療研修会	集合研修（下越）
⑦	9月26日（土）	9:30-16:00	避難所アセスメント机上シミュレーション&災害時の 通信・記録実習 研修会	集合研修
⑧	10月24日（土）	9:30-16:30	CPMS 研修会	集合研修
⑨	11月7日（土）	9:00-17:00	第5回DMORT養成研修会 in 新潟	集合研修
⑩	11月14日（土）	9:00-16:00	オンライン版PSEAH研修	Zoom ミーティング
⑪	12月5日（土）	9:30-17:00	第7回新潟BHELP標準コース	集合研修
⑫	12月6日（日）	14:00-17:00	令和8年度新潟県災害薬事研修会	集合研修
⑬	12月12日（土）	9:30-16:30	「災害から子どもをまもる2日間」 子どものためのPFA研修会	集合研修
⑭	12月13日（日）	9:30-12:30	子どもにやさしい空間（CFS）研修	集合研修

2 研修内容

各開催案内をご参照ください。

【本件にかかる連絡先】

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地
新潟大学医学部災害医療教育センター 担当 小山
TEL: 025-227-0827 FAX: 025-227-2167
E-mail: disaster@med.niigata-u.ac.jp

令和8年7月1日

新潟県内病院管理者様
新潟県民医療推進協議会構成団体の代表者様
新潟県福祉保健部長様
地域振興局健康福祉（環境）部長様
市町村長様
新潟市保健所長様
消防本部長様
関係者各位

新潟大学医学部災害医療教育センター長
佐藤 昇

新潟大学医学部災害医療教育センター 研修会
参加者の募集について（案内）

平素より、本センターにおける災害医療教育への格別の御高配を賜り御礼申し上げます。
さて、本センターでは、下記のとおり研修会の開催を予定しております。
ついては、開催案内に記載の QR コード、あるいは本センターホームページの申込みフォームより、各申込み締め切りまでにお申込み願います。

記

1 開催日時、研修名称、開催方法

	開催日時（予定）		研修名称	開催方法
①	8月20日（木）	9:30-15:30	令和8年度新潟県災害医療研修会	集合研修（中越）
②	8月21日（金）	9:30-15:30	令和8年度新潟県災害医療研修会	集合研修（上越）
③	8月29日（土）	9:30-16:30	WHO 版 PFA 研修会	集合研修
④	9月3日（木）	9:30-15:30	令和8年度新潟県災害医療研修会	集合研修（佐渡）
⑤	9月5日（土）	10:00-16:00	D-EATs 試行コース	集合研修
⑥	9月10日（木）	9:30-15:30	令和8年度新潟県災害医療研修会	集合研修（下越）
⑦	9月26日（土）	9:30-16:00	避難所アセスメント机上シミュレーション&災害時の 通信・記録実習 研修会	集合研修
⑧	10月24日（土）	9:30-16:30	CPMS 研修会	集合研修
⑨	11月7日（土）	9:00-17:00	第5回 DMORT 養成研修会 in 新潟	集合研修
⑩	11月14日（土）	9:00-16:00	オンライン版 PSEAH 研修	Zoom ミーティング
⑪	12月5日（土）	9:30-17:00	第7回新潟 BHELP 標準コース	集合研修
⑫	12月6日（日）	14:00-17:00	令和8年度新潟県災害薬事研修会	集合研修
⑬	12月12日（土）	9:30-16:30	「災害から子どもをまもる2日間」 子どものための PFA 研修会	集合研修
⑭	12月13日（日）	9:30-12:30	子どもにやさしい空間（CFS）研修	集合研修

2 研修内容

各開催案内をご参照ください。

【本件にかかる連絡先】

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地
新潟大学医学部災害医療教育センター 担当 小山
TEL : 025-227-0827 FAX : 025-227-2167
E-mail : disaster@med.niigata-u.ac.jp

WHO版PFA研修会

「心理的応急処置（PFA：Psychological First Aid）」

新潟大学履修証明プログラム

災害に携わる者の必要最小限の知識・技術として、「心理的応急処置（PFA：Psychological First Aid）」の基本的技術を学ぶ研修会です。座学だけでなく、ロールプレイ、ディスカッションを多く含んだ待望の対面型研修会です。

2026年
8月29日（土）
9:30～16:30

会 場

新潟大学医学部
共同研究棟1階 第5講義室
新潟市中央区旭町通1-757
(新潟大学旭町キャンパス内)

参加費無料

定員 **20** 名
(予定)

心理的応急処置(PFA)とは

災害の現場で被災者を支援する私たちの多くは、心理ケアの専門家ではありませんし、目の前の問題を解決するために、私たち自身も余裕がありません。そのような被災地では、つい被災者の「心の問題」を後回しにしがちです。しかし、傷に絆創膏を貼ってあげるような、応急処置は専門家でなくとも出来るはずで

す。ましてや、私たち支援者自身が、不用意に被災者の心に傷をつけるような事があってはなりません。PFAは世界保健機構(WHO)等の世界中の多くの団体が支持しています。



申込用QRコード
【申込期間】
8/17(月)正午まで



左記QRコードまたは当センターHPからお申し込み下さい。申込が完了すると、受付完了メールが届きます。確実にメールを受信できるよう、アドレスを正しくご入力ください。定員に達した場合は募集を終了します。

参加費
無料

令和8年度 新潟県 災害医療研修会

その時、地域で何が起るのか。

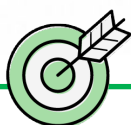
中越・上越地区

DIGで地域の災害リスクと医療課題を考える

DIG (Disaster Imagination Game) を活用し、地図を囲みながら
地域の災害リスクや医療課題を可視化し、
災害時の対応について考える参加型研修です。

約3時間の
ワークショップで
地域の「弱さ」を見える化し、
明日からできる対策を
考えましょう！

研修の目的



地域の特性や脆弱性を把握し、発災時に生じる医療・保健・福祉のニーズを予測するとともに、地域資源を活用した対応策を検討できるようになることを目的とします。

到達目標

- ✓ 地域の災害リスクと医療資源を把握できる。
- ✓ 災害時に発生する医療ニーズ等を予測できる。
- ✓ 地域の脆弱性を抽出できる。
- ✓ 課題に対する改善策を提案できる。
- ✓ 多職種・他機関の連携の重要性を理解できる。

中越地区

2026年
8月20日(木)
9:30～15:30

 **長岡赤十字病院**
講堂（長岡市千秋2-297-1）

上越地区

2026年
8月21日(金)
9:30～15:30

 **上越総合病院**
2階講堂（上越市大道福田616）

受講人数

(予定)
各32名

先着順

【内容】

- ◆ DIG (Disaster Imagination Game)
- ◆ 医療ニーズ予測
- ◆ 対策検討ワーク など

こんな方におすすめ！

- ✓ 災害医療に関心のある方
- ✓ 地域の防災・医療体制を学びたい方
- ✓ 多職種・多機関との連携を深めたい方

どなたでもご参加いただけます！

新潟の「冬」を想定した
シナリオも！

- ・大雪・停電
- ・交通障害
- ・断水

など、地域特性を
踏まえて考えます。



新潟県災害医療研修会（佐渡地区・下越地区）

佐渡地区 9/3(木)佐渡総合病院／下越地区 9/10(木) 新潟大学医学部／締切8/26(水)正午 ※別途ご案内します

申込用QRコード
【締切】

8/12(水)正午



左記QRコードまたは当センターHPからお申し込み下さい。
申込が完了すると、受付完了メールが届きます。確実に
メールを受信できるよう、アドレスを正しくご入力ください。
定員に達した場合は募集を終了します。



新潟県



新潟大学医学部
災害医療教育センター

お問い合わせ先

新潟大学医学部災害医療教育センター 担当：内山

☎ 025-227-0827 ✉ disaster@med.niigata-u.ac.jp

<https://www.med.niigata-u.ac.jp/disaster/>



災害医療Palette
新潟大学 未来社会共創ラボ

共催



災害・復興科学研究所
Research Institute for Natural Hazards & Disaster Recovery

※日本医師会生涯教育講座
に申請中です。

参加費
無料

令和8年度 新潟県 災害医療研修会

その時、地域で何が起るのか。

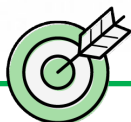
佐渡・下越地区

DIGで地域の災害リスクと医療課題を考える

DIG (Disaster Imagination Game) を活用し、地図を囲みながら
地域の災害リスクや医療課題を可視化し、
災害時の対応について考える参加型研修です。

約3時間の
ワークショップで
地域の「弱さ」を見える化し、
明日からできる対策を
考えましょう！

研修の目的



地域の特性や脆弱性を把握し、発災時に生じる医療・保健・福祉のニーズを予測するとともに、地域資源を活用した対応策を検討できるようになることを目的とします。

到達目標

- ✓ 地域の災害リスクと医療資源を把握できる。
- ✓ 災害時に発生する医療ニーズ等を予測できる。
- ✓ 地域の脆弱性を抽出できる。
- ✓ 課題に対する改善策を提案できる。
- ✓ 多職種・他機関の連携の重要性を理解できる。

佐渡地区

2026年
9月3日(木)
9:30～15:30



佐渡総合病院

2階講堂（佐渡市千種16）

下越地区

2026年
9月10日(木)
9:30～15:30



新潟大学医学部第5講義室

（新潟大学旭町キャンパス内）

受講人数

（予定）
各32名

先着順

【内容】

- ◆ DIG (Disaster Imagination Game)
- ◆ 医療ニーズ予測
- ◆ 対策検討ワーク など

こんな方におすすめ！

- ✓ 災害医療に関心のある方
- ✓ 地域の防災・医療体制を学びたい方
- ✓ 多職種・多機関との連携を深めたい方

どなたでもご参加いただけます！

新潟の「冬」を想定した
シナリオも！

- ・大雪・停電
- ・交通障害
- ・断水

など、地域特性を
踏まえて考えます。



新潟県災害医療研修会（中越地区・上越地区）

中越地区 8/20(木)長岡赤十字病院／上越地区 8/21(金)上越総合病院／締切8/12(水)正午 ※別途ご案内します

申込用QRコード
【締切】

8/26(水)正午



左記QRコードまたは当センターHPからお申し込み下さい。
申込が完了すると、受付完了メールが届きます。確実に
メールを受信できるよう、アドレスを正しくご入力ください。
定員に達した場合は募集を終了します。



新潟県



新潟大学医学部
災害医療教育センター

お問い合わせ先

新潟大学医学部災害医療教育センター 担当：内山

☎ 025-227-0827 ✉ disaster@med.niigata-u.ac.jp

<https://www.med.niigata-u.ac.jp/disaster/>



災害医療Palette
新潟大学 未来社会共創ラボ

共催



災害・復興科学研究所
Research Institute for "Natural Hazards & Disaster Recovery"

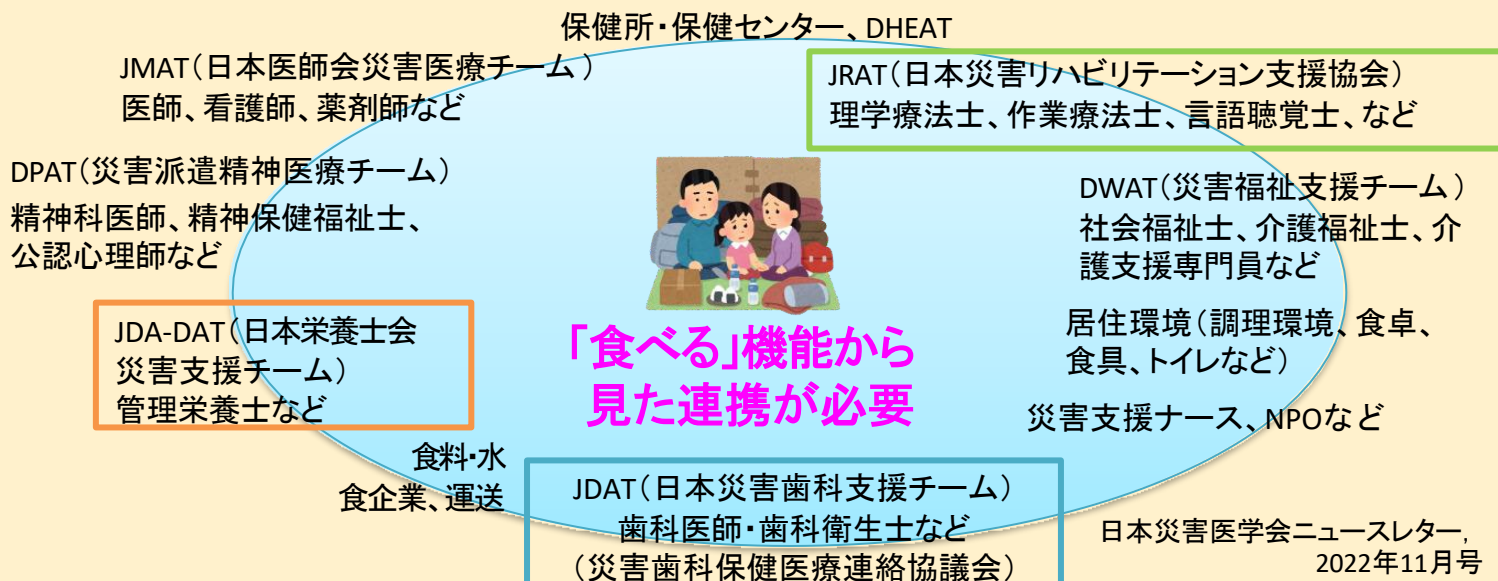
※日本医師会生涯教育講座
に申請中です。

日本災害医学会 D-EATs試行コース ～多職種での“災害時「食べる」連携研修会”～

2026年9月5日(土) 新潟大学旭町キャンパス第五講義室

- * 時間は、10:00～16:00で予定しています。事前研修動画が3時間程あります。3週間前までにご案内します。
- * 主に保健医療職や介護福祉職の方を対象としていますが、災害時の生活や食事の支援に関わる方なども歓迎です。興味がある方であれば、災害支援の経験などは問いません。
- * 試行コースへの参加費はありません。資料印刷費・参考書籍購入費、旅費(交通費・宿泊費)他への補助もありません。
- * グループごとに多職種で組むため、職能ごとの人数枠を設定しており、申し込み後に調整が必要となる場合もあるかもしれませんがご容赦ください。

被災後の地域住民の、特に要配慮者の健康を維持するためには、多職種での“「食べる」支援”を通じた栄養や衛生の確保は大切です。よりよい地域における連携に向けて、お互いの体制や特徴を知り、学び合う場となり、かつ、ネットワークが構築されていく場となりえる研修会といたく、構築してきています。



特に、誤嚥性肺炎・フレイルの
予防には、被災 直後からの
“「食べる」支援”が重要

それぞれの“「食べる」支援”が
連携して補いあって、はじめて
安全かつ適切に栄養を確保しうる

下記の受付フォーム(右のQRコード)からお申込ください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/beaa6bf9354911>

新潟大学医学部災害医療教育センターホームページからお申込みいただけます

お申込期限：2026.7.15(水) 12:00まで



主催：新潟大学医学部災害医療教育センター
共催：新潟大学 未来社会共創ラボ 災害医療パレット
連絡先：disaster@med.niigata-u.ac.jp

日本災害医学会 災害時「食べる」連携委員会
saigai.taberu@gmail.com

D-EATs（災害時「食べる」連携研修）標準コース 日程 試行コース2026 ver.

※ 事前に3時間程度の事前研修（オンデマンド動画）を修了することを参加要件としています

	9:30 ~ 10:00	受付
講義1	10:00 ~ 10:15	研修の目的・意義
	10:15 ~ 10:25	自己紹介
講義2 演習	10:25 ~ 10:45	災害食演習(準備)
講義3 演習	10:45 ~ 11:25	歯科からみた「食べる」評価／災害支援
講義4 演習	11:25 ~ 12:05	栄養からみた「食べる」評価／災害支援
	12:05 ~ 13:05	昼食(災害食演習(実食))
演習	13:05 ~ 13:15	災害食演習(実食)まとめ
講義5 演習	13:15 ~ 13:55	リハビリテーションからみた「食べる」評価／ICF演習
講義6 演習	13:55 ~ 14:40	災害時の「食べる」の多面的評価と連携
	14:40 ~ 14:50	休憩
総合質疑	14:50 ~ 15:00	総合質疑
	15:00 ~ 15:07	試験説明、試験
	15:07 ~ 15:10	試験解答・解説確認
意見交換	15:10 ~ 15:30	地域で多職種が連携して取り組む必要性と仕組みづくり
意見交換	15:30 ~ 15:50	各職能・組織における体制とこれから
	15:50 ~ 16:00	修了式、写真撮影

※ 昼食時間を避けて災害食演習を短縮し、「13:00～18:00」等で構築することも可能です

※ 保健医療行政、福祉、心理なども含めた加えた「完全版」は「10:00～17:30」となります

学習目標

- (1) 災害保健医療に関する基礎的な知識を習得する
- (2) 災害時対応の体制や活動原則を理解する
- (3) 多職種の視点からの災害時の「食べる」アセスメントを理解し習得する
- (4) 災害時「食べる」対応原則のEAT (Eating assessment, Alimentation support, Transdisciplinary care) を理解し実践する
- (5) 被災者の心理や背景に配慮し尊厳を守ったアプローチができる
- (6) 被災地域内の「食べる」の確保に関わる情報収集と評価ができる
- (7) 地域の保健医療福祉連携会議のもとで他職種と連携できる

委員会メンバー

中久木康一（歯科医師、東北大学）、坪山宜代（管理栄養士、防衛装備庁防衛イノベーション科学技術研究所）、梅原健（言語聴覚士、国立病院機構三重中央医療センター）、原田奈穂子（看護師・保健師、岡山大学）、笠松信幸（ケアマネジャー、日本介護支援専門員協会）、奥田博子（保健師、国立保健医療科学院）、服部希世子（医師、熊本県）、市川学（芝浦工業大学）、河嶋譲（医師、DPAT事務局）、前田圭介（医師、愛知医科大学栄養治療支援センター）、江川孝（薬剤師、福岡大学）、池田美樹（臨床心理士・公認心理師、桜美林大学）、原田浩美（言語聴覚士、東京工科大学）、島田郁子（管理栄養士、高知県立大学）、藤岡正行（言語聴覚士、高岡市民病院リハビリテーション科）、山口祐介（管理栄養士、愛野ありあけ病院）、高山はるか（管理栄養士、聖路加国際病院）、向井須美（管理栄養士、公立陶生病院）、門井謙典（歯科医師、兵庫医科大学）、木村欣司（言語聴覚士、多摩リハビリテーション学院専門学校）

令和8年度 避難所アセスメント 机上シミュレーション& 災害時の通信・記録実習 研修会

新潟大学履修証明プログラム

午前は、机上の避難所アセスメントシミュレーションを通して、要配慮者支援や課題への対応、避難所の総合的な評価、などについて学びます。(避難所運営ゲーム(HUG)とは異なる、オリジナルのシミュレーションです。)

午後は、被災地で被災状況をまとめたり、活動指示を図示化する際の記録の取り方について、実習を行います。また、スターリンクを用いたweb会議、トランシーバー、衛星携帯電話について実習します。

2026年
9月26日(土)
9:30~16:00

会場

新潟大学医学部第5講義室

新潟市中央区旭町通1-757
(新潟大学旭町キャンパス内)**参加費無料**定員 **36** 名
(予定)

講師

梶山和美(北里大学病院)

災害医療対策室看護師長

災害看護専門看護師

中越地震から令和6年能登半島地震まで、数多くの被災地で活動しています。

本学の「履修証明プログラム」でも被災地や避難所で支援活動について、平時から発災後、マクロからミクロな視点までの課題を学ぶ研修を担当しています。

研修会について

避難所アセスメント机上シミュレーションは、講師が社会人から看護学生まで多くの教育現場で用いてきたものです。昨年大好評をいただき、今年度も実施が決定しました。災害医療・介護・福祉、防災等に携わる全ての職種の方にご受講いただきたい内容となっています。午後の通信・記録実習とあわせ、大規模災害に備え、是非ご参加ください。

(本研修会は午前・午後とおしたプログラムです。)

申込用QRコード

【申込期間】**9/18(金)正午まで**

左記QRコードまたは当センターHPからお申し込み下さい。申込が完了すると、受付完了メールが届きます。確実にメールを受信できるよう、アドレスを正しくご入力ください。定員に達した場合は募集を終了します。



お問い合わせ先:

新潟大学医学部災害医療教育センター 担当:小山

☎ 025-227-0827 ✉ disaster@med.niigata-u.ac.jp

<https://www.med.niigata-u.ac.jp/disaster/>災害医療Palette
新潟大学 未来社会共創ラボ

共催

災害・復興科学研究所
Research Institute for Natural Hazards & Disaster Recovery

新潟大学医学部災害医療教育センター研修会

「人道行動における子どもの保護の最低基準」

(Minimum Standards for Child Protection in Humanitarian Action: CPMS)

集合 1 日研修

新潟大学履修証明プログラム

緊急支援の現場で耳にする「子どもの保護」の活動って？

どんなことに気を付けるべき？

「人道行動における子どもの保護の最低基準」(CPMS)は、緊急支援の現場において、子どもたちを暴力や虐待、搾取から適切に守るために 2012 年に制定された国際基準です。国内外の緊急事態発生時、子どもたちを守り、適切に支援を提供できるよう、あるいはそのような事態に備えられるように、本研修に参加してみませんか。緊急支援や子どもの保護に関する活動経験がない方の参加も歓迎いたします。多くの方のお申し込みをお待ちしております。

研修プログラム概要（予定）

- 人道行動における子どもの保護（導入編）
- CPMS の原則、子どもの保護のニーズへの対応
- 子どもの保護支援の戦略策定、質の担保、主流化とは



- 【日 時】 2026 年 10 月 24 日（土）9：30～16：30（受付開始 9：15～）
- 【会 場】 新潟大学医学部共同研究棟 1 階 第 5 講義室（旭町キャンパス内）
- 【参加対象】 緊急時の子どもの保護の活動に興味のある方（緊急支援の経験がない方も歓迎します）
- 【定 員】 25 人程度（定員に達し次第募集を締め切ります）
- 【修了証】 所定の研修課程を履修した方には修了証を授与します
- 【申込期間】 **2026 年 10 月 12 日（月）正午まで**
- 【申込方法】 下記の申込フォーム、QR コード、新潟大学医学部災害医療教育センターのホームページからお申し込みください。

申込フォーム：<https://e-ve.event-form.jp/event/124408/r8cpms>

参加費
無料



【本研修に関する連絡先】

新潟大学医学部災害医療教育センター 担当：小山

Email：disaster@med.niigata-u.ac.jp

主催：新潟大学医学部災害医療教育センター

共催：災害時に子どもを守る最低基準（CPMS）推進ネットワーク、 災害・復興科学研究所

後援（予定）：新潟県、新潟県医師会

第 5 回 DMORT 養成研修会 IN 新潟

DMORT(ディモート)とは Disaster Mortuary Operational Response Team の略で「災害死亡者家族支援チーム」と訳しています。本研修は、災害直後から死亡者の家族支援を行うことができる人員を養成することを目的としています。

研修内容 プログラム

1. DMORT の概要
2. DMORT が連携する組織について
3. 災害急性期の心理反応と遺族心理の実際
4. 救援者のメンタルヘルス
5. ロールプレイング実習
6. DMORT の活動の実際
7. まとめ・質疑応答



開催日時 2026 年 11 月 7 日 (土) 9:00~17:00 (予定)

開催会場 新潟医療人育成センター (新潟大学旭町キャンパス内)

〒951-8510 新潟県新潟市中央区旭町通一番町 757 番地

受講対象 医療関係者、行政関係者、救護関係者 (消防、警察、海上保安庁、自衛隊 他) 等
実際に災害医療に従事する可能性のある方 (上記以外の職種で希望の方は、問合せください。)

受講人数 35 名 (定員に達し次第、募集を締め切ります。以前、研修に参加された方も再受講可能です。)

参加費 一般社団法人日本 DMORT 会員 8,000 円 / 非会員 10,000 円 (資料代・運営費 等)

※会員の方は、受講申込時に会員番号の入力が必要です。

修了証 研修修了者には、一般社団法人日本 DMORT の「修了証」を発行します。

申込期間 2026 年 10 月 26 日 (月) 正午まで

申込方法 以下の URL、右 QR コード、当センターホームページからお申込みください。

<https://e-ve.event-form.jp/event/124735/r8dmort>



- その他**
- ・一般社団法人日本 DMORT ホームページもご参照ください。 <http://dmort.jp/>
 - ・DMORT 養成研修会の内容等、ご不明な点は、以下にお問い合わせください。
一般社団法人日本 DMORT information@dmort.jp
 - ・既に「DMORT 養成研修会」を受講済みの DMORT 会員へは、日本 DMORT から別途タスク参加希望者募集の案内があります。

主催・共催 一般社団法人日本 DMORT・新潟大学医学部災害医療教育センター・新潟大学 災害・復興科学研究所

後援 新潟県・新潟県医師会・新潟県歯科医師会

新潟大学死因究明教育センター

【本件に係る問い合わせ先】

新潟大学医学部災害医療教育センター 小山

Tel 025-227-0827

E-Mail disaster@med.niigata-u.ac.jp

新潟大学医学部災害医療教育センター研修会

オンライン版 PSEAH 研修

(性的搾取・虐待・ハラスメントからの保護)

Protection from Sexual Exploitation and Abuse and Sexual Harassment

新潟大学履修証明プログラム

PSEAH (Protection from Sexual Exploitation and Abuse and Sexual Harassment)、「性的搾取・虐待およびセクシャルハラスメントからの保護」は、開発・人道支援の現場において、支援を受ける立場にある人々を、支援従事者による性的搾取や虐待から守るための予防・対応の取り組みのことを指します。この研修は、機関間常設委員会(IASC)などで活用されている PSEAH 研修モジュールを基にした、PSEAH の概要を日本語で学ぶためのオンライン研修です。

◆研修の目標◆

国内外の人道・開発支援、防災に関わる者が以下の事項を習得すること

- ・SEAH が発生する背景・要因を学び、問題解決の重要性を理解する
- ・適切な行動と不適切な行動を区別できるようになる
- ・SEAH 事案が発生した際にとるべき行動がわかるようになる



【開催日時】 2026 年 11 月 14 日 (土) 9:00~16:00 (受付開始 8:45~)

【開催方法】 Zoom を利用したオンライン開催 (ミーティング)

【受講対象】 人道・緊急支援に携わっている方、またはその予定がある方

【受講定員】 24 人程度 (定員に達し次第募集を締め切ります)

【修了証】 事前学習を含む所定の研修課程を履修した方には修了証を授与します

※詳細は開催要項をご覧ください

【申込期間】 **2026 年 11 月 2 日(月)正午まで**

【申込方法】 下記の申込フォーム、QR コード、新潟大学医学部災害医療教育センターのホームページからお申し込みください。

申込フォーム: <https://e-ve.event-form.jp/event/124725/r8pseah>

参加費
無料



【本研修に関する連絡先】

新潟大学医学部災害医療教育センター 担当: 小山

Email: disaster@med.niigata-u.ac.jp

主催: 新潟大学医学部災害医療教育センター



共催: PSEAH (性的搾取・虐待・ハラスメントからの保護)ワーキンググループ/新潟大学災害・復興科学研究

協力: 協力支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク(JQAN)

後援: (申請中) 新潟県、新潟県医師会

「災害から子どもをまもる2日間」

子どものための心理的応急処置研修会

Psychological First Aid for Children (PFA for Children)

新潟大学履修証明プログラム

災害や緊急時に、子どもと子どもをケアする大人のこころをサポートするための、誰もができる、こころの応急手当を学ぶ研修会です。待望の**対面研修会**です！

※本セミナーは、WHO版PFA（一日研修・3時間コース・当センターのWEBセミナー「災害時心のケア研修会」等）を事前に受講された方の参加を推奨いたします。

12月12日 2026年
（土）
9:30～16:30

会 場

参加費無料

新潟医療人育成センター

定員

30名



新潟市中央区旭町通1-757
（新潟大学旭町キャンパス内）

子どものための心理的応急処置とは

災害や緊急時などの危機的な出来事に直面した子どもたちは、普段と異なる反応や行動を示すことがあります。
「子どものためのPFA（心理的応急処置）」は、そのような子どもたちのこころを傷つけずに対応するための方法です。
心理や精神保健の専門家でなくても、誰もが使える「準備・見る・聞く・つなぐ」の行動原則を基本とした、子どものこころの応急手当です。

プログラム（グループワーク含む）

1. 子どものための心理的応急処置とは
2. 危機的状況下で子どもが示す反応や行動
3. 心理的応急処置の行動原則
4. ストレスを抱えた子どもとのコミュニケーションの取り方



申込用QRコード

【申込期間】

11/30(月)正午まで



左記QRコードまたは当センターHPからお申し込み下さい。
申込が完了すると、受付完了メールが届きます。確実にメールを受信できるよう、アドレスを正しくご入力ください。
定員に達した場合は募集を終了します。



お問い合わせ先

新潟大学医学部災害医療教育センター 担当: 小山

☎ 025-227-0827 ✉ disaster@med.niigata-u.ac.jp

<https://www.med.niigata-u.ac.jp/disaster/>

共催



協力



新潟大学医学部災害医療教育センター研修会 「災害から子どもをまもる2日間」 子どもにやさしい空間(CFS)研修会

Child Friendly Spaces : CFS

新潟大学履修証明プログラム

災害時、子どもたちが安全・安心に過ごし、日常を取り戻すことができる場所「子どもにやさしい空間(Child Friendly Spaces 略してCFS)」。内閣府が定める避難所運営ガイドラインでは「キッズスペース」と呼ばれるこのCFSについて、設置や運営について学びます。待望の対面型研修会です。

12月13日(日)

2026年

会場

参加費無料

9:30~12:30

新潟医療人育成センター



新潟市中央区旭町通1-757
(新潟大学旭町キャンパス内)

定員

30名



Save the Children
セーブ・ザ・チルドレン

World Vision

この子を救う。未来を救う。



CFS協議会

協力:災害時の子どもの居場所(CFS)協議会

プログラム(予定)

1. 災害時の子どもの居場所とは
2. CFS設置運営のポイント

・準備編

・実施編

※グループワーク有

3. 質疑応答・意見交換



申込用QRコード

【申込期間】

11/30(月)正午まで



左記QRコードまたは当センターHPからお申し込み下さい。
申込が完了すると、受付完了メールが届きます。確実に
メールを受信できるよう、アドレスを正しくご入力ください。定
員に達した場合は募集を終了します。



新潟大学医学部
災害医療教育センター



災害医療Palette
新潟大学 未来社会共創ラボ

お問い合わせ先

新潟大学医学部災害医療教育センター 担当:小山

☎ 025-227-0827 ✉ disaster@med.niigata-u.ac.jp

<https://www.med.niigata-u.ac.jp/disaster/>

共催



災害・復興科学研究所
Research Institute for Natural Hazards & Disaster Recovery